事例No.	2913
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	長野県塩尻市

事例区分	DX

タグ	・AI ・交通事業 ・会社法法人

事例種類	DX

事例内容・タイトル

AI活用型オンデマンド乗合バス：長野県塩尻市の「のるーと塩尻」

出典

活力ある地域社会の実現に向けた情報通信基盤と利活用の在り方に関する懇談会（第1回）

(2) 産業の高度化・合理化

○ AI活用型オンデマンド乗合バス：長野県塩尻市の「のるーと塩尻」

地域課題・背景

市内のモビリティニーズ、サービス提供者不足により交通インフラに課題を抱える

- 塩尻市では平成11年から民間委託によりコミュニティバス「すてっぷくん」を運行していたが、利用者ニーズの多様化に伴う需給のミスマッチなどを背景として、利用者数が減少
- 運行を担う事業者の立場としても乗務員の高齢化、担い手不足が深刻化し、サービスの持続性が低下

サービス内容

概要

- 利用者が乗りたい時にアプリや電話で呼べる乗合バス「のるーと塩尻」を導入。
  - AIシステムが乗合い状況や道路状況に応じて車両に効率的なルートを案内
  - 塩尻駅を中心とした10平方キロの運行エリアに人口密度が高いエリアや観光拠点、商業施設など111箇所のミーティングポイントを設置
  - 今後は市内で行っているMaaS事業を松本市まで拡大した「広域医療連携MaaS実証事業」を行いオンデマンドバス・鉄道・バスを組み合わせた移動をサポート予定



サービス提供者：塩尻市、ネクスト・モビリティ株式会社

検討フェーズ：導入済み (2022年4月より)

導入にあたって工夫した点

- DX戦略策定による他部門の巻き込み
  - 自治体には新しいことに抵抗のある職員がいるが、「DX戦略」を議会を通したことで、抵抗感のあった自治体内組織も参画
- 利用者への直接説明による、デジタルへの理解の促進と抵抗感の排除
  - 実証実験を行う地域の全住民宅、既存のバス利用者に直接サービス内容の説明をすることで、理解を獲得
- 民間企業から自動運転の知見を獲得
  - 過去から実施してきた自営型テレワーク事業「KADO」を通じて、自動運転に知見のあるアイサンテクノロジーズと知り合い、紹介から自動運転に必要な企業に参画してもらうようことで知見を活用
- 民間企業並みの"速さ"で、意思決定するために新たな組織(振興公社)を設立
  - 世の中と同等以上のスピードで変革を実現するため、市役所の意思決定ラインと切り離した"塩尻振興公社"を立上
  - 四半期での予算～実行のPDCAを実施

【出典】長野県塩尻市　のるーと塩尻プレスリリース
(https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000029.000072283.html)を基に作成